

2017 年度学習院大学東洋文化研究所 プロジェクト研究年次報告会

日時:2017 年 6 月 2 日(金)14:40～17:45
会場:学習院大学中央教育研究棟国際会議場(12F)

第1部 14:45～16:35

2017 年度継続・新規一般研究プロジェクト

- A16-1 アジアの高等教育における CLIL (内容・言語統一型学習) の応用と実践
代表研究員 入江 恵・国際社会科学部教授
- A16-2 タイの若者に人気の日本の文学作品の潜在的意味の日タイ比較 代表研究員 白田 由香利・経済学部教授
- A17-1 中国の南向政策:経済の陸、安保の海 代表研究員 中居 良文・法学部教授
- A17-2 日本と韓国における人的資源管理の国際比較—収斂・拡散理論の観点から—
代表研究員 鄭 有希・国際社会科学部准教授
- A17-3 植民地期ベトナムにおけるアーカイブズ制度の変容と展開 代表研究員 保坂 裕興・文学部教授
- A17-4 木村武山と中国美術コレクション 代表研究員 鶴間 和幸・文学部教授

2016 年度終了一般研究プロジェクト

- A15-1 親族法・相続法における当事者間の合意の効力—東アジアの比較家族法研究—
代表研究員 稲田 龍樹・元法務研究科教授
- A15-2 アジア諸国における生産性動向の比較研究 代表研究員 宮川 努・経済学部教授
- A15-3 日本近世から近代における〈国家〉意識の文化的諸問題とアジア 代表研究員 遠藤 薫・法学部教授
- A15-4 ベトナム・阮朝アーカイブズに関する基礎的研究 代表研究員 武内 房司・文学部教授
- A15-5 日本とアジアにおける小学校低学年の自然・生活・伝統文化に関する指導の実態比較
代表研究員 嶋田 由美・文学部教授

東アジア学アーカイブズプロジェクト

(代表者:杉田善弘・東洋文化研究所長)

- ・「小倉進平関係文書」の日本語学・言語学関係資料・原稿の調査
- ・「小倉進平関係文書」の日本語学・言語学関係資料の基礎調査と活用
セクションリーダー 安部 清哉・文学部教授
- ・朝鮮総督府関係者録音記録セクション セクションリーダー 磯崎 典世・法学部教授
- ・学習院大学所蔵漢籍の調査 セクションリーダー 大澤 顯浩・外国語教育研究センター教授

その他助成事業

・科学研究費助成事業

包山楚簡からみた戦国期楚の社会構造

海老根 量介・東洋文化研究所助教

古代中国における地理情報の文書化過程－出土文字資料から『水経注』『山海経』へ

村松 弘一・客員研究員

・2016 年度昭和会館助成事業

日本・中国・韓国における歴史認識形成に及ぼすコンテンツの比較研究

・2017 年度学長裁量枠事業

東洋文化研究所の資料・データ・研究成果統合検索システムの構築

2017 年度 学習院大学東洋文化研究所「東アジア学」共創研究プロジェクト

C17-1 明清期地方志編纂と地図

客員研究員 小二田 章（早稲田大学・文学学術院招聘研究員）

（受入研究員：大澤 顯浩・外国語教育研究センター教授）

C17-2 中国先秦時代の爵制と国制

客員研究員 松島 隆真（京都大学・非常勤講師）

（受入研究員：鶴間 和幸・文学部教授）

第2部 16:45～17:45

2016 年度「東アジア学」共創研究プロジェクト

■漢末から三国魏に至る節：中国古代・中世における地方軍事制度研究

野口 優（京都大学・非常勤講師）

■迎日・冷水里碑、蔚珍・鳳坪里碑を中心とした出土文字資料による 6 世紀新羅の研究

橋本 繁（早稲田大学・非常勤講師）

主催 学習院大学 東洋文化研究所

お問い合わせ先 学習院大学東洋文化研究所

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1（学習院大学内北 1 号館 4 階）

TEL：03-5992-1015（直通）・内線 6360 FAX：03-5992-1021

E-mail：ori-off@gakushuin.ac.jp HP：<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/rioc/>